

保育所運営の実態と あり方に関する 調査研究報告書

—多様な保育事業と保育士の確保—



社会福祉法人 日本保育協会

保育所運営の実態とあり方に関する調査研究報告書
— 多様な保育事業と保育士の確保について —

社会福祉法人 日本保育協会

序

本報告書は、厚生労働省の補助事業として、日本保育協会が実施した「平成24年度保育所運営の実態とあり方に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

本調査研究事業は保育制度の改革と保育の現場における実情や対応状況及び運営の実態を把握し、今後の保育実践のあり方を探求しもって保育園運営の充実と向上に資することを目的とするものです。

今年度は保育所調査として全国の認可保育所の10分の1抽出による調査票調査を行いました。

調査としては多様な保育事業と保育士の確保という課題にスポットをあてました。

多様な保育事業、ことに一時預かり事業、延長保育促進事業、地域子育て支援事業、その他多くの保育事業の実施状況、そして多様な保育実践をささえる保育所における保育士確保をいかにすべきか、調査結果をもとに分析・考察したものです。

考察結果からは現場実践と保育制度施策の間にある課題と展望が浮かび上がっております。

本書を、今後の保育制度の運用や保育所の運営管理のあり方を考える上での参考としていただければ幸いです。

このたびの調査研究事業の実施にあたりましては、高橋紘委員（至誠保育総合研究所）、普光院亜紀委員（保育園を考える親の会）、橋本聡子委員（こどもの城保育研究開発部）、太田嶋信之委員（竜南保育園）、青山弘忠委員（いそやま保育園）、宮原大地委員（愛児園湯田保育所）、田中浩二委員（のあ保育園）、篠原敬一委員（野方保育園）、松本兼一郎委員（かわのぼり保育園）の各研究委員の方々にご尽力いただいたこと、また、調査対象保育所の皆様にご協力いただいたことに対しまして深甚の感謝の意を表するものであります。

平成25年3月

社会福祉法人 日本保育協会

保育所運営の実態とあり方に関する調査研究報告書

— 多様な保育事業と保育士の確保について —

目 次

序

I. 調査研究の目的及び方法	1
II. 保育所運営の課題 総論	高橋 紘委員 4
III. 調査結果の概要分析	田中浩二委員 12
IV. 各委員による調査結果の詳細分析及び考察	
1 一時預かり事業の実施状況について	太田嶋信之委員 45
2 延長保育促進事業に関する調査結果について	篠原敬一委員 51
3 地域子育て支援事業の考察	宮原大地委員 57
4 その他の保育事業の実施状況に関する調査結果について	篠原敬一委員 65
5 新人保育士の確保についての考察	青山弘忠委員 70
6 現在勤務している保育士の人員確保について	橋本聡子委員 76
7 保育士の経験者採用の工夫について	松本兼一郎委員 81
V. これからの人材育成についての考察	
〔1〕多様な保育事業の地域特性・保育士確保の手法に関して	…普光院亜紀委員 84
〔2〕子ども・子育て関連3法と今後の展望	…太田嶋信之委員 93
付 録	
・調査票	102
・集計票	108

